

社会資本総合整備計画

平成26年11月28日

計画の名称	姫路市における循環のみち実現		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	姫路市
計画の目標	下水道管の整備を推進するとともに、計画的に老朽施設の改築・更新を進め、浸水対策を実施することにより、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な水環境を創造する。		

計画の成果目標 (定量的指標)	<p>①下水道処理人口普及率を89.1% (H22) から90.9% (H26) に増加させる。</p> <p>②下水道による浸水対策達成率を34.1% (H22) から34.9% (H26) に増加させる。</p> <p>③合流式下水道改善率を1.3% (H22) から17.1% (H26) に増加させる。</p>
-----------------	---

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
①下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口 (人) / 総人口 (533,553人 H21年度末)	89.1%	90.3%	90.9%	
②下水道による浸水対策達成率 浸水対策完了済面積 (ha) / 浸水対策を実施すべき面積 (9,913.0ha)	34.1%	34.6%	34.9%	
③合流式下水道改善率 合流式下水道改善済み面積 (ha) / 合流区域面積 (1,391.6ha)	1.4%	12.5%	17.1%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	6098百万円	A	6082百万円	B	C	16百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.3%
-------	------------	---------	---	---------	---	---	-------	---------------------------	------

交付対象事業

A 下水道事業										事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業 者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	H22	H23	H24	H25			H26
A-1-4	下水道	一般	姫路市	直接	-	処理場	新設	大塩処理場新設	脱水機脱臭設備整備	姫路市						104	
A-1-5	下水道	一般	姫路市	直接	-	処理場	増設	大塩処理場増設	第3系列整備 5,500㎡/日	姫路市						655	
A-1-8	下水道	一般	姫路市	直接	-	汚水	新設	大塩処理区汚水管渠	分流管 φ200mm L=1564m	姫路市						181	
A-2-8	下水道	一般	姫路市	直接	-	処理場	新設	東部処理場合流改善	雨水滯水池整備 2,000㎡	姫路市						300	合流改善緊急
A-3-8	下水道	一般	姫路市	直接	-	汚水	新設	中部処理区汚水管渠	分流管 φ200~400 L=14017m	姫路市						1,033	
A-3-9	下水道	一般	姫路市	直接	-	合流	新設	中部処理区飾磨地区合流改善	合流管 φ400~2000mm L=1818m	姫路市						1,279	合流改善緊急
A-3-10	下水道	一般	姫路市	直接	-	合流	新設	中部処理区飾磨地区浸水対策	合流管 φ1500~2000mm L=870m	姫路市						130	
A-3-11	下水道	一般	姫路市	直接	-	合流	新設	中部処理区分流化	分流管 φ200 L=720m	姫路市						130	合流改善緊急
A-3-12	下水道	一般	姫路市	直接	-	合流	新設	中部処理区船場地区浸水対策	合流管 φ4250mm L=2034m	姫路市						60	
A-3-17	下水道	一般	姫路市	直接	-	雨水	新設	中部処理区野田川清水幹線	雨水管 φ1800mm L=680m	姫路市						454	
A-3-18	下水道	一般	姫路市	直接	-	ポンプ場	増設	飾磨ポンプ場増設	雨水ポンプ増設	姫路市						535	
A-3-20	下水道	一般	姫路市	直接	-	雨水	新設	汐入川左岸第二排水区浸水対策詳細設計	雨水管 □800~φ3500mm L=2740m	姫路市						20	
A-4-4	下水道	一般	姫路市	直接	-	汚水	新設	揖保川処理区汚水管渠	分流管 φ200 L=500m	姫路市						40	
A-4-5	下水道	一般	姫路市	直接	-	雨水	新設	垣内川排水区雨水貯留施設新設	貯留管、調整池新設 18,800m <sup>3</sup>	姫路市						800	
A-4-6	下水道	一般	姫路市	直接	-	前処理場	新設	福井前処理場新設	ホッパ設備整備	姫路市						70	
A-5-3	下水道	一般	姫路市	直接	-	処理場	増設	清水苑増設	汚泥脱水機整備	姫路市						205	

A-5-4	下水道	一般	姫路市	直接	-	汚水	新設	香寺処理区汚水管渠詳細設計	分流管 φ75~200mm L=3020m	姫路市							20	
A-6-1	下水道	一般	姫路市	直接	-	処理場	新設	家島浄化センター新設	計装機器新設	姫路市							16	
A-8-1	下水道	一般	姫路市	直接	-	雨水	改築	浸水安全度向上のための施設計画策定	雨水排水計画見直し	姫路市							50	
合計（下水道事業）																6,082		

B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考	
											H22	H23	H24	H25	H26			
合計																0		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
C-2-1	下水道	一般	姫路市	間接	個人	排水設備	被保護世帯水洗化助成事業	水洗化工事 10件/年	姫路市							16	
合計																16	

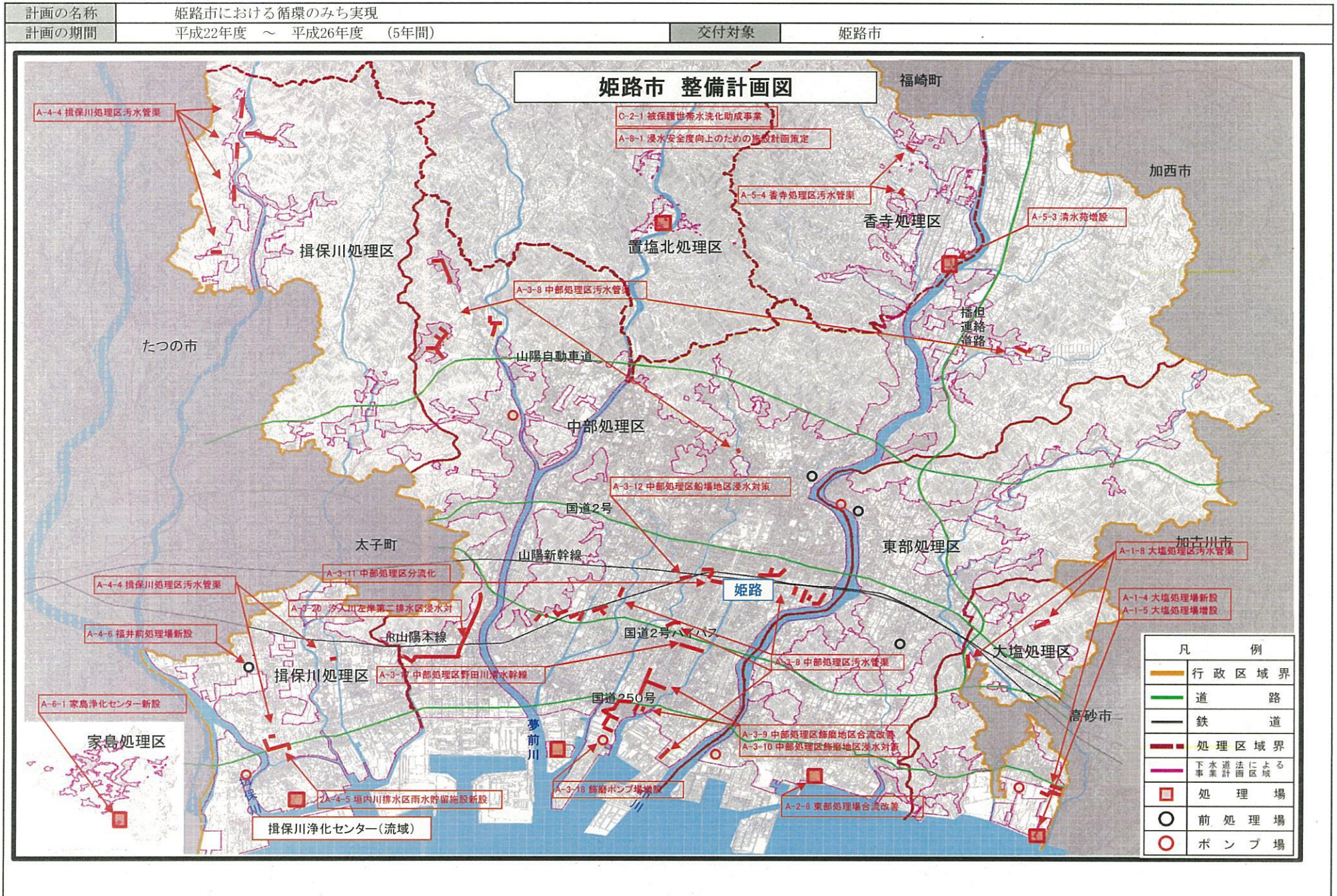
番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
C-2-1	被保護世帯に水洗化工事を促し、水洗化率向上を図り健全な都市活動を確保することができる。	

その他関連する事業																
計画等の名称	姫路市における循環のみち実現に向けた安全・防災対策（防災・安全）															
事業種別	地域種別	交付対象	要素となる事業名（事業個所）					市町村名						全体事業費（百万円）	備考	
2A-1-2	下水道	姫路市	大塩処理場合流改善					姫路市						245	防災・安全移行先	
2A-1-9	下水道	姫路市	ポンプ場増設（大塩処理区）					姫路市						150	防災・安全移行先	
2A-2-1	下水道	姫路市	市川ポンプ場合流改善					姫路市						10	防災・安全移行先	
2A-3-2	下水道	姫路市	中部処理場合流改善					姫路市						140	防災・安全移行先	
2A-3-13	下水道	姫路市	中部処理区合流改善スクリーン設置					姫路市						120	防災・安全移行先	
2A-4-1	下水道	姫路市	揖保川第四ポンプ場					姫路市						860	防災・安全移行先	

その他関連する事業（復興基本方針関連（全国防災））																
事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
A	下水道	一般	姫路市	直接	-	処理場	中部処理場改築	汚泥ポンプ他耐震対策	姫路市						106	
	下水道	一般	姫路市	直接	-	前処理場	福井前処理場改築	汚水ポンプ他耐震対策	姫路市						40	

A'	1671百万円	B'		C'		$(C+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C'))$	0.2%
----	---------	----	--	----	--	---------------------------------------	------

(参考図面)



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

(下水道関係)

計画の名称: 姫路市における循環のみち実現 事業主体名: 姫路市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
1) 上位計画(総合計画、生活排水処理計画、都市計画等)との整合性が確保されている。	○
2) 下水道の諸計画(合流式下水道緊急改善計画等)との整合性が確保されている。	○
3) 関連する諸計画(河川整備計画等)と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
2) 必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 整備計画の効果及び効率性	
③目標と定量的指標の整合性	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
④定量的指標の明瞭性	
1) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
⑤目標と事業内容の整合性	
1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
2) 目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
⑥事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 整備計画の実現可能性	
⑦円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 関連する関係機関等の調整が、図られている。	○
⑧地元の機運	
1) 事業実施に向けた機運がある。	○
2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○